

深海の大物アブラボウズ&メヌケのド迫カタツグに挑む

茨城県平潟港出船 撮影●権名義徳

★アブラボウズの当日最大は44キロにとどまったが、平潟沖には80~90キロ級のモンスターが潜む

▼アブラボウズとメヌケのリレー釣りは春まで楽しめる



★この日のメヌケは1キロ級が多かった



◎ハリス20号のメヌケ仕掛けて18キロが上がった



◎これも18キロ。このサイズなら40リットル級のクーラーに収まる



▲メヌケのエサはイカの切り身が定番



▲まめに底ダチを取り直し、底をトレースするように探る



▲この時期は脂が乗って美味 ▲5キロ級のマダラも上がった



▲筆者も2キロ級をキャッチ



◀この時期の釣り場は航程2時間圏内の平潟沖、水深300~400メートル台が中心



(詳細は56ページ参照)

のだが、この時期はメヌケの魚影が濃い水深300~400メートル付近の浅い海域に産卵で乗り込んでくるため、両魚のリレー釣りが可能となる。アブラボウズはオデコの賞悟の一発大物狙いのターゲットだが、比較的手堅いメヌケでお土産をキープできるとあってリレー釣りの人気は上々。大物釣りや深海釣りがミックスされた独特の釣趣をぜひ味わっていただきたい。

深海の釣り物を得意とする茨城県平潟港・第15隆栄丸の期間限定メニューの一つがアブラボウズとメヌケ(アコウダイ)のリレー釣り。通常アブラボウズの釣り場は水深500~700メートル前後と深い



◀アブラボウズはギャフを掛けて取り込む

▶アブラボウズのエサはスルメイカの1杯掛け、標準オモリは500号、もしくは2キロの鉄筋

◀メヌケ仕掛けの下バりをハリス30号のアブラボウズ仕様にしてもいい



◎茨城県平潟港・第15隆栄丸 鈴木 和次船長